学校番号	204

平成 31 年度　保健体育科

教科	体育	科目	スポーツⅥ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体つくり運動の特性や、取り上げる運動例の名称や用語、正しい行い方、運動の組み立て方、初心者への指導法、実生活への取り入れ方を理解しよう。
・運動する心地よさや仲間とかかわって運動する楽しさを味わおう。

2　学習の到達目標

・体つくりの専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにする。
・生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○		a:主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮し、自己の責任を果たそうとする。また運動の種類に応じて計画を調整し、危険を予見して回避行動をとることによって事故防止を図ることができる。 b: 運動を通して、心と体は互いに影響し変化することに気付き、競技力の向上やけがや疾病を予防するための計画など個人の目的に応じた計画を立てることができる。 c:運動を通して体の状態を整えることができ、仲間と体を動かしたり、協力して課題に取り組むことで仲間と積極的に交流ができる。 d:各運動の名称や用語、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。	受講態度の観察 レポート 技能観察

2学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○	○	a: 主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮し、自己の責任を果たそうとする。また運動の種類に応じて計画を調整し、危険を予見して回避行動をとることによって事故防止を図ることができる。 b: 運動を通して、心と体は互いに影響し変化することに気付き、競技力の向上やけがや疾病を予防するための計画など個人の目的に応じた計画を立てることができる。 c:体力を高めることにより、健康を保持増進したり、それぞれの運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、様々な運動を合理的に行うことができる。 d: 各運動の名称や用語、初歩的な指導方法、体力測定の仕方、課題解決の方法などを理解することができる。	受講態度の観察 レポート 技能観察

3学期	ライフステージに応じた運動の計画の立て方	体力を高める運動	○	○		○	a: 様々な運動の特性に関心を持ち、自らの実践を深めたり、他者に対して実践ができ、運動の種類に応じて計画を調整し、危険を予見して回避行動をとることによって事故防止を図ることができる。 b:自己の課題を解決するとともに生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができるよう、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じた運動の計画を立てることができる。 c: 体力を高めることにより、健康を保持増進したり、それぞれの運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、様々な運動を合理的に行うことができる。 d: 各運動の名称や用語、それぞれのライフステージやライフスタイルに合った指導法、課題解決方法などを理解することができる。	受講態度の観察 レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。